

I 令和元年度事業報告書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

当協会は、昭和23年8月に財団法人埼玉県消防協会として設立され、「消防思想を普及徹底し、消防諸施設の改善と消防活動の強化を図り、もって社会の災害を防止し、人類共通の福祉の増進に寄与すること。」を目的に活動している。

公益法人制度改革関連法の規定に基づき、平成24年4月1日付けをもって、公益財団法人埼玉県消防協会へ移行した。この移行と共に公益性をより高め、県民の更なる安心・安全の確保を図り、福祉の増進に寄与することが求められている。

当協会の事業の内容は、地域の消防・防災活動の中核的な担い手である消防団員及び消防職員への支援を通じ、地域の災害の防止に貢献するための事業を行っているが、その概要は次のとおりである。

1 主な事業の概要

(1) 第71回定例表彰式

ア 表彰式概要

令和元年10月10日(木)さいたま市民会館うらわを会場として、消防団、消防団員及び企業など延べ50団体、2,590人を表彰した。

イ 死亡特例表彰

在職中に死亡した消防団員9人に死亡特例表彰を授与した。

(2) 慰霊祭事業

ア 慰霊祭

令和元年11月18日(月)埼玉県消防学校の屋内訓練場を会場として、消防殉職・殉難者84柱の御霊に対する慰霊祭を挙行、遺族及び消防関係者302人が参列した。

イ 死亡弔慰金の交付

在職中に死亡した消防団員16人、消防職員2人の計18人の遺族に対して弔慰金を交付した。

(3) 第24回全国女性消防操法大会

令和元年11月13日(水)横浜市赤レンガ倉庫イベント広場で開催された「第24回全国女性消防操法大会」に、三郷市消防団アザレア分団が埼玉県代表として出場し、優秀な成績(優秀賞)を収めた。

(4) 消防団員研修事業

ア 消防団員幹部研修会

埼玉県防災学習センターにおいて、消防団員幹部を対象に大規模火災時における消防団の活動と課題を学ぶため、糸魚川市消防団長の斎藤直文氏による「糸魚川市駅北大火からの教訓」について研修を実施した。

実施日	受講者数
令和元年8月24日(土)	141人

イ 住宅用火災警報器設置推進指導員研修

埼玉県防災学習センターにおいて、消防団員を対象に住宅用火災警報器の設置率向上を目的とし、行田市消防本部の大久保尚氏による「住宅用火災警報器の設置率、維持管理、奏功事例等」について研修を実施した。

実施日	回数	時間	受講者数(女性数)
令和元年 9月28日(土)	第1回	10時00分 ～11時30分	106人(18人)
	第2回	13時00分 ～14時30分	93人(15人)
合計			199人(33人)

ウ 女性消防団員研修

埼玉県消防学校において、女性消防団員を対象に避難所の運営を目的とした「HUG訓練(避難所運営ゲーム)」を実施した。

講師は、川越市消防団員で防災士として活躍中の田中緑氏及び同じく防災士であり川口市消防団員の大沼早苗氏、毛呂山消防団の有山志のぶ氏、三郷市消防団員の高橋さとみ氏、対馬代志子氏、二崎博美氏に依頼した。

実施日	受講者数
令和元年11月30日(土)	89人

エ 消防団長等幹部研修会

埼玉県危機管理防災センターにおいて、消防団長等を対象に、水害のリスクと的確な対応についての知識を習得することを目的とし、国土交通省荒川上流事務所の林健二氏による「洪水対策について」及び当協会の顧問で、全国市町村振興協会理事長の坂本森男氏による「埼玉県の気象災害について」の研修を実施した。

実 施 日	受 講 者 数
令和2年2月10日(月)	84人

オ 消防団員基礎教育研修

埼玉県消防学校が行う教育訓練を支援して、現地研修修了者（概ね入団3年以内）の新入消防団員を対象とした基礎教育研修を4回実施、合計338人（女性16人）が受講した。

回 数	実 施 日	受講者数（女性数）
第1回	令和元年12月7日(土)	68人(5人)
第2回	令和元年12月21日(土)	82人(5人)
第3回	令和2年1月18日(土)	88人(2人)
第4回	令和2年2月15日(土)	100人(4人)
第5回	令和2年3月8日(日)	講習延期
合 計		338人(16人)

カ 消防団員幹部研修（初級幹部科・指揮幹部科）

埼玉県消防学校が行う教育訓練を支援して、消防団幹部を対象とした初級幹部科・指揮幹部科（現場指揮課程）の研修を実施、合計149人（女性3人）が受講した。

種 別		実 施 日	受 講 者 数 (女性数)
初 級 幹 部 科		令和2年1月24日(金) 令和2年1月25日(土)	96人 (3人)
指 揮 幹 部 科	現 場 指 揮 課 程	令和2年1月31日(金) 令和2年2月1日(土)	53人 (0人)
	分 団 指 揮 課 程	令和2年2月29日(土)	講習延期
合 計			149人 (3人)

キ 日本消防協会研修

日本消防会館において、日本消防協会主催による各都道府県から推薦された消防団幹部及び幹部候補生を対象とした特別研修に各ブロックから団員を派遣した。

種 別	実 施 日	受 講 者 数
消防団幹部特別研修	令和2年 1月21日～1月24日	3ブロック 男性1名
消防団幹部候補 中央特別研修	令和2年 2月5日～2月7日	1, 2, 4ブロック 男性3名
	令和2年 2月19日～2月21日	1・4ブロック 女性2名

(5) 普及啓発・活性化事業

ア 全国女性消防団員活性化事業

令和元年9月19日（木）青森市において、日頃の消防団活動や先進的取組について情報交換し、交流を深めることにより、幅広い視野と知識を習得し、団員活動をさらに活性化させることを目的に「第25回全国女性消防団員活性化青森大会」が開催された。

この大会に本県からは、16消防団の女性消防団員等関係者62人が参加した。

イ 防火ポスターの募集及び配布

全日本消防人共済会の依頼を受け、県内小中学校あてにポスター等の募集を行うとともに、防火ポスターの配布を行った。

今年度は、応募のあった13点から防火ポスター2点を推薦し、日高市立高麗小学校5年生 和田あずささんの作品が優秀賞、日高市立武蔵台中学校1年生 石田明璃さんの作品が佳作に選ばれた。

なお、全日本消防人共済会から提供のあった防火ポスター1,064枚を県内消防団に配布した。

ウ 埼玉県防災講演会

寄居町及び新座市において、県民を対象に防災意識の向上を図ることを目的とし、災害リスク評価研究所代表の松島康生氏による防災講演会を実施した。

回 数	開 催 場 所	実 施 日	受 講 者 数
第1回	寄居町中央公民館 共催：埼玉県防災学習センター	令和元年 6月29日（土）	202人

第 2 回	ふるさと新座館 共催：埼玉県防災学習センター・新座市	令和元年 10月26日（土）	180人
合 計			382人

(6) 福利厚生事業

ア 消防団員等福祉共済制度

公益財団法人日本消防協会による、消防職団員を対象とした消防団員等福祉共済の加入給付手続を行っている。

令和元年度は、遺族援護金10件、障害見舞金1件、生活援護金1件、入院見舞金48件、合計60件で総額12,765,500円を給付した。

イ 育英支援金の給付

育英支援規程による、殉職消防職団員の遺児に対する育英支援金の給付を行っている。

令和元年度は、該当なしであった。

2 役職員に関する事項（令和2年3月31日現在）

(1) 役員数

役 職 名	常 勤	非 常 勤	備 考
会 長	0	1名	代表理事
副 会 長	0	4名	理 事
理 事	1名	17名	専務理事1名、常務理事1名
監 事	0	4名	団長職2名、会計管理者2名
評 議 員	0	16名	団長職
計	1名	42名	

(注) 同一親族等特別な関係にある者の理事等の役員に占める割合0%

(2) 事務局職員数

・ 常務理事兼事務局長	(常 勤)	1名
・ 次 長	(常 勤)	1名
・ 主 査	(常 勤)	1名
・ 書 記	(非常勤)	1名

(3) 組 織

ア 役 員

会 長(1) 本間雄一郎(団長)

|

副会長(4) 大籾 徹(団長) 森田耕一(団長) 鈴木克典(団長) 岡村好一(団長)

|

理 事(18) 新井 義一 (専務理事) 小竹 清司 (常務理事)

森尾 博之 (県危機管理防災部長)

団 長(10)

市 長 会(2)

町 村 会(2)

消 防 長 会(1)

|

監 事 (4) 団 長(2)

市会計管理者(2)

|

評議員(16) 団 長 (16)

イ 事務局

常務理事兼事務局長(1) 小竹 清司

次 長 (1) 岡野 和男

主 査 (1) 鷹野 淳子

書 記 (1) 舞原 美智子

3 その他

附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。